

東京藝術大学藝術祭

■昭和35年11月3日—6日

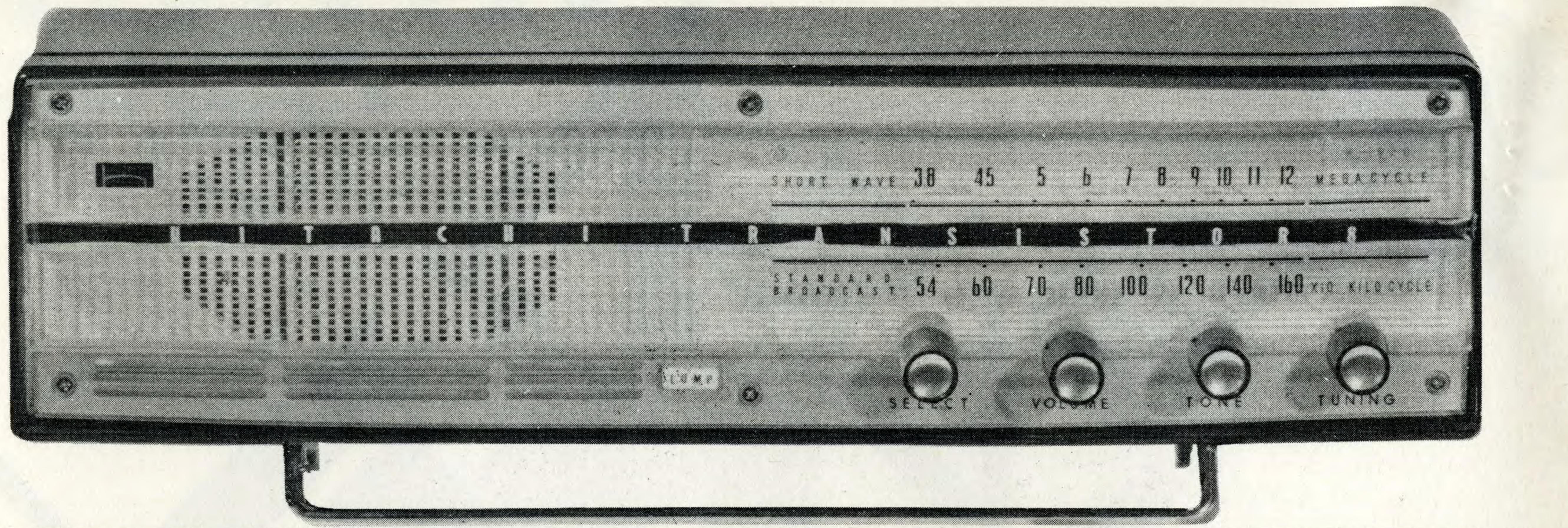
■上野公園内 東京藝術大学

4F学内

芸祭

1960



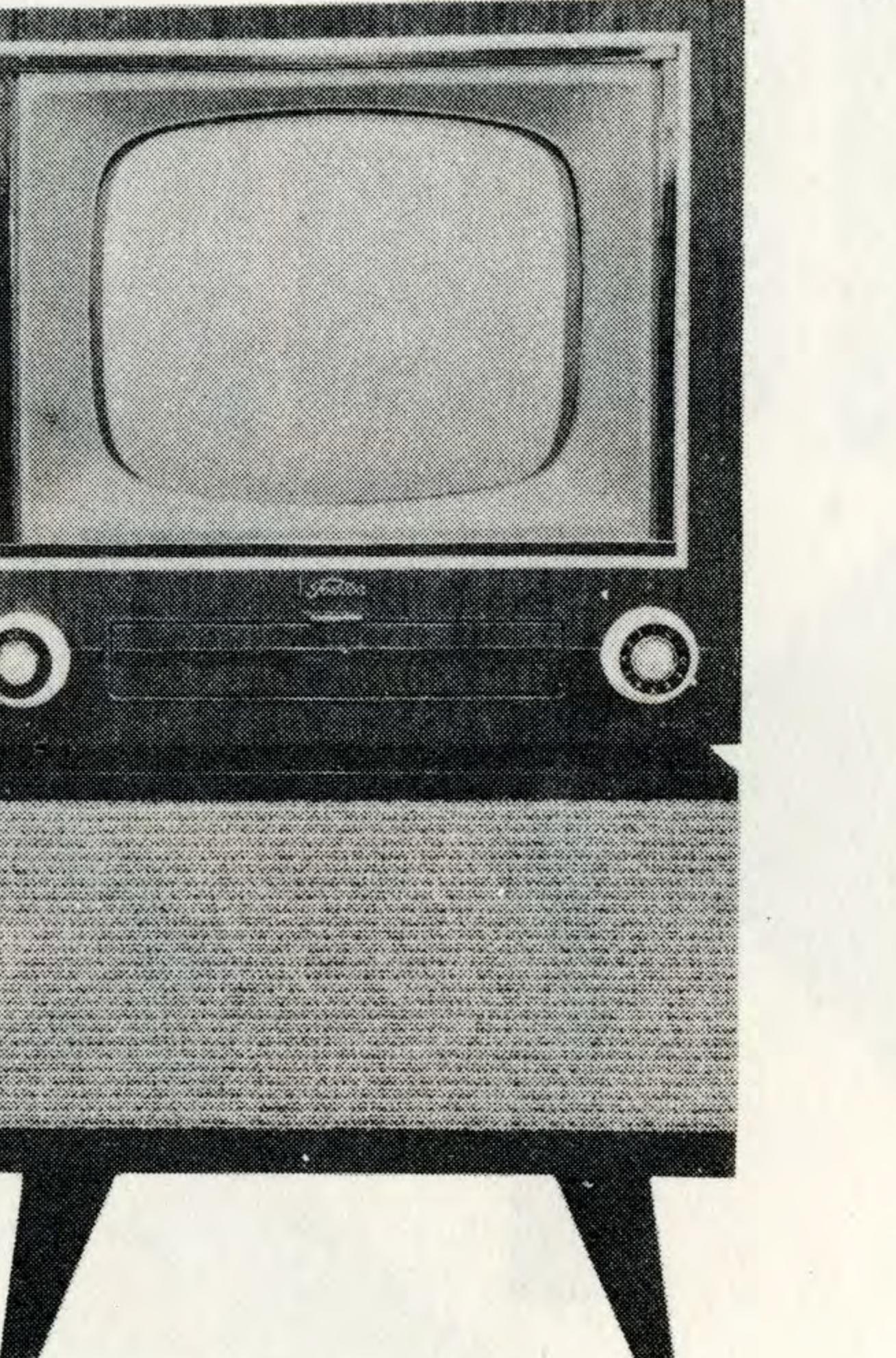


 電化で築く家庭の幸福
創業 50 周年
日立製作所

**日立トランジスター
ラジオ**

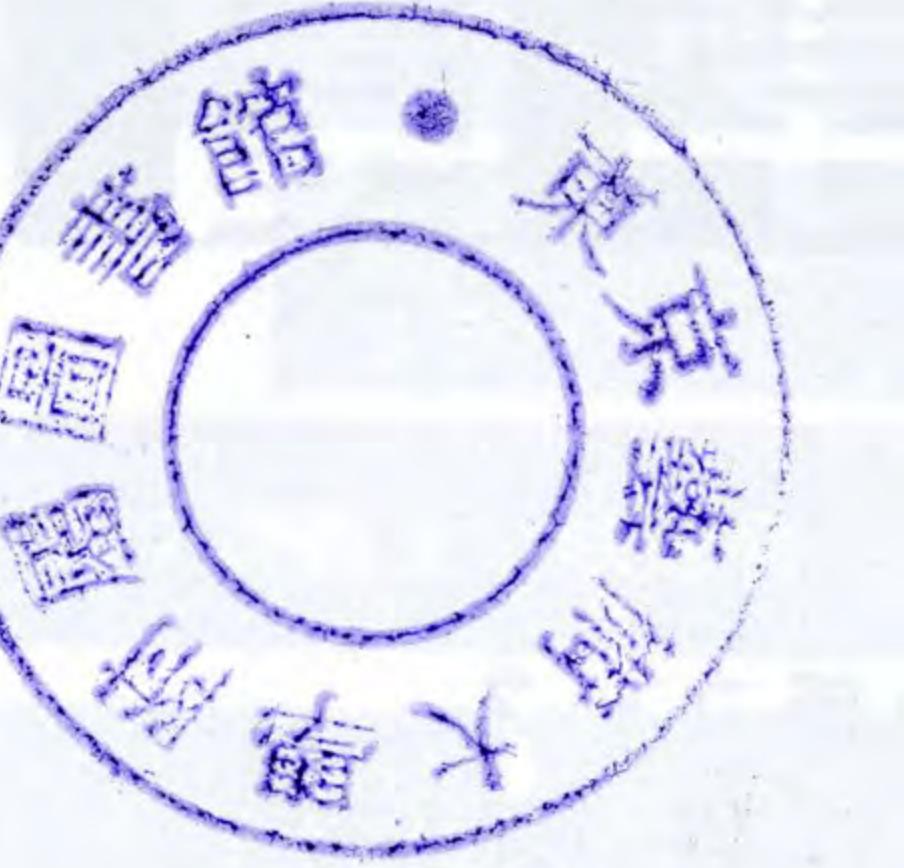
創業50周年記念奉仕品
出力1Wホームラジオ
2ウエイシステム・2バンドオールウェーブ
“エリーザ” W-826
現金正価 9,950円 月賦正価10,800円

東芝テクノビューティ



七色の魔術！

東京芝浦電気株式会社 / 東芝商事株式会社



暑い夏が漸く去って、やれやれとおもって居ると、いやそう思わない内に、休暇がすんで日々の課程がはじまる。やがて涼風が少しづ、吹きはじめると、芸術祭の先駆がやって来て、プログラムの序文を書けという。毎年のことである。さて何を書いたらよいかと考えて見て、一向うまい文句が浮ばない。書かせる方も、それを予期して居るわけではあるまい。序文はともあれ、中身はそれぞれ苦心があるであろう。何にしても、生れもつた器用な人達の集りであるから、何か面白い工夫が沢山あることであろうと楽しみにしている。

昭和35年9月 学長 上野直昭

∞ 第7回東京藝術大学芸術祭

あらゆる制約と目に見えない束縛の中で、我々は生活して来た。そして現に生活している。時間と制約、社会に対する奮闘やる方ない不条理、サラリーマン、BG等の安泰の上にたてられた週刊誌的哲学等々。人の人たるを忘れ、人が機械と時間に喰われ様としている現在誰がその本能を健康的に解決、努力しようとしているのか。我々は時間に使われ、単に明日の糧を得る為に生れて来たのではない。

独り静かに、心の内なる響きを聞く時、素直な人間性の発露を感じたなら、生命の証として、あらゆる障害をのりこえてそれを勝ち取りたい。そしてその障害は社会的なもので自分の中に巣喰っている事をはっきり自覚した。倦怠と伝統という名の隕性の虫が……。

我々芸術祭運営委員一同はこの“虫”と戦い乍ら今日迄やって來た。

具体的な内容はページをめくって見て下さい。あとは若いエネルギーが芸術祭にスムーズに発散される事を祈っています。

芸術祭運営委員長 建築3年 増田三夫

芸術祭日定表

ASAGAYA ACADEMIE DES BEAUX-ARTS

阿佐ヶ谷美術学園



専門家コース

工業デザイン専門部(昼・夜2年)
商業デザイン専門部(昼・夜2年)

普通部コース

油 絵 科 (昼1年)
デッサン科 (昼・夜1年)
工芸デザイン科 (昼・夜1年)
建 築 科 (昼1年)

デッサン科
(色彩)
色児童教室

附属洋画研究所

附属機関 美術教育映画研究室 三輪美術研究所(学術)

東京都杉並区高円寺3の184 国電-高円寺南口より10分 電(311) 7975 学則円8円6枚
都電 バス-杉並車庫2分

読んで楽しい夢の雑誌うえのを
加盟店でお受けとり下さい。

◆地元の有名店

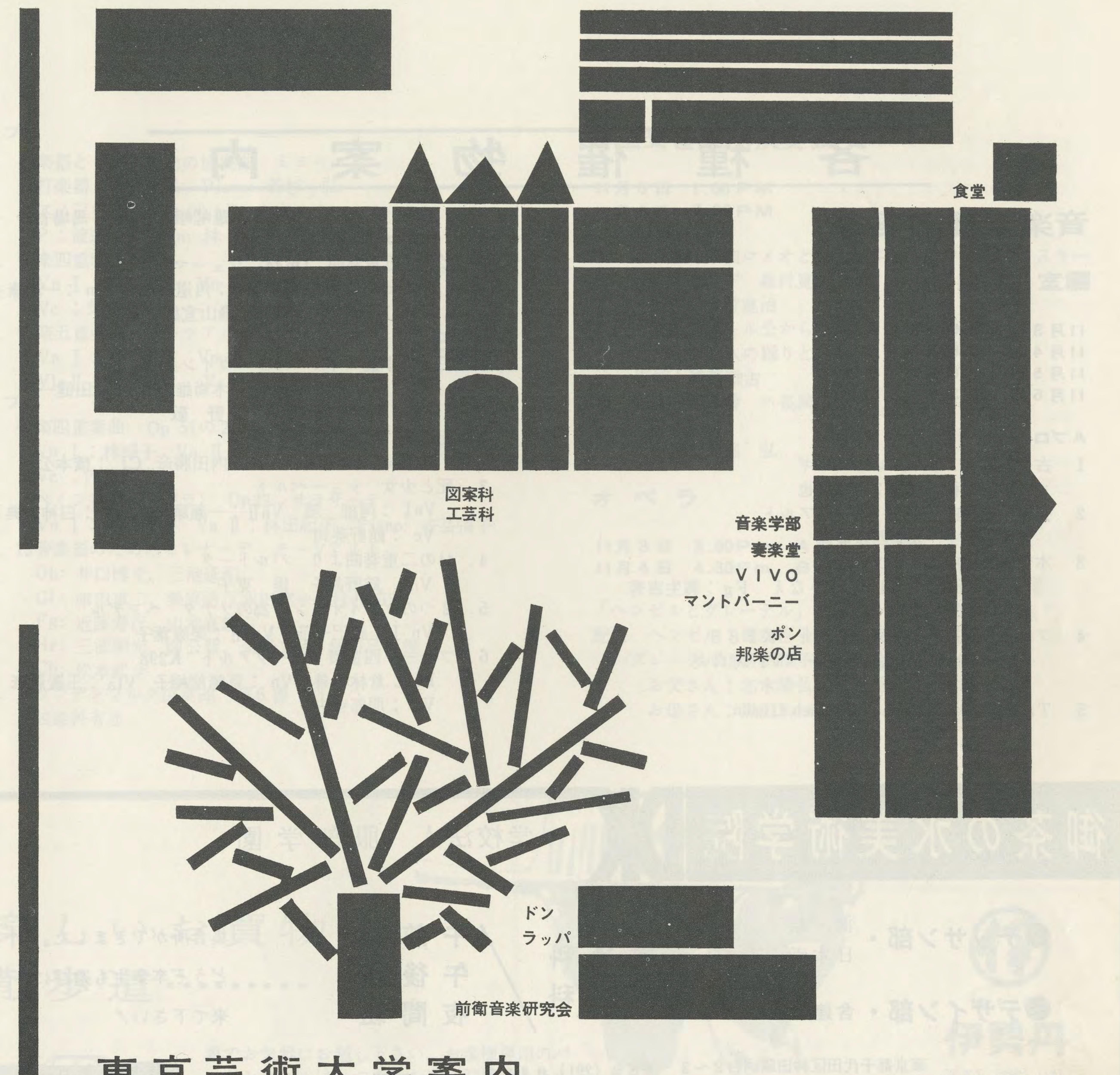
上野のれん会

10 3 thu	11 12 1 2 3 4 5 6 7	奏楽堂 室内楽演奏会(A) 学生交響楽団演奏会 オペラ(ヘンゼルとグレーテル) 1年弦楽合奏	野外(美校食堂前)ステージ ポピュラー演奏会 フォークダンス ダンスパーティー
		第7講義室 映画会(芸術学科:自治会共催)	
4 friday		室内楽演奏会(B) 邦楽演奏会 演奏会 スライド(芸術学科)	ヴォーカルコンサート オペラ(ヘンゼルとグレーテル) フォークダンス ダンスパーティー
5 saturday		テープ音楽(楽理科) 室内楽演奏会(C) 演奏会・コーラス スライド(芸術学科)	ポップス・コンサート バンド バンド ダンスパーティー 演劇(蛙昇天)
6 sunday		作品発表演奏会 室内楽演奏会(D) ポピュラー演奏会 講演と映画の会(工芸科)	学生交響楽団演奏会 古典音楽演奏会 仮装ダンスパーティー 講演と映画の会(工芸科)

■奏楽堂に於ける演奏会は整理券を発行いたします。



◀うえの 徒歩15分



東京藝術大学案内

うぐいすだに ▶

各種催物案内

音楽学部演奏会

■室内楽

11月3日 10.00AM Aプロ
11月4日 10.00AM Bプロ
11月5日 11.00AM Cプロ
11月6日 12.30PM Dプロ

Aプロ

- 古代舞曲とアリア レスピーギ
- 2年器楽科 指揮：石橋義也
- 弦楽四重奏曲〈狩〉 モーツアルト
チエルティー弦楽四重奏団
- 木管四重奏曲 モーツアルト
Ob：飯田陽子 Cl：土子さなえ Fg：霧生吉秀
Hr：余野文照
- フルート四重奏 モーツアルト K285
Fl：井幽香 Vl：栗原葉子 Vla：寿貞夫
Vc：小川晶久
- Trio in Fdur Joh Gottlieb Graun

Ob：三池延和 Vn：草薙嵯峨子 Vc：馬場省一
Piano：若杉弘

6 ピアノ五重奏曲 Op44 シューマン
Piano：金井 裕 Vn：角道 徹 Vn：一瀬康夫
Vla：白神定典 Vc：飛山宜雄

Bプロ

- 二つの小品 ギルバート・ヴィンター
Fl：湯川和雄 Ob：鈴木尚雄 Cl：永田健一
Fg：霧生吉秀 Hr：小野 敬
- 街の歌 ベートーベン
Piano：山本凱子 Vc：内田勝彦 Cl：橋本公佑
- 死と少女 シューベルト
VnI：阿部 靖 VnII：一瀬康夫 Vla：白神定典
Vc：館野英司
- 44の一重奏曲より バルトーク
Vn：館野晶子 堤 克子
- 2つのヴァイオリンの為のソナタ ヘンデル
Vn I：藤沢一彦 Vn II：栗原葉子
- フルート四重奏 モーツアルト K298
Fl：倉林和善 Vn：草薙嵯峨子 Vla：玉置勝彦
Vc：服部善夫

Cプロ

- 打楽器とピアノの為の協奏曲 ミヨー
打楽器：雨宮靖弘 Piano：若杉 弘
- ピアノ三重奏曲 Op 90 (Dumky) ドヴォルザーク
P：渡辺英美 Vn：林 瑶子 Vc：館野英司
- 弦楽四重奏 ラベル
Vn I：藤沢一彦 Vn II：能見和絵 Vla：寿 貞夫
Vc：矢島富雄
- 弦楽五重奏曲 モーツアルト
Vn I：吉村重子 Vn II：町田映子 Vla I：玉置勝彦
Vla II：菅沼準一 Vc：馬場省一

Dプロ

- 弦楽四重奏曲 Op 51の2 ブラームス
Vn I：林瑠子 Vn II：前沢 均 Vla：兎東俊之
Vc：内田勝彦
- スペイン舞曲〈ナバラ〉 Op33 サラサーテ
Vn I：能見和絵 Vn II：林田紀子 Piano：安芸彌子
- 13管楽器のためのセレナード モーツアルト
Ob：井口博文、三池延和
Cl：津田軍一、栗原浩、永田健一、村井祐児
Fg：近藤寿行、山本直親
Hr：三浦朝光、沖公智、余野文昭 保科二智雄
Cb：松本武全
- プランデンブルグ協奏曲 第6番 バッハ
弦楽科有志

学生交響楽団演奏会

11月3日 1.00PM
11月6日 2.30PM

- 1 幻想的序曲ロメオとジュリエット チャイコフスキイ
- 2 サラバンド 森村寛治
指揮：森村寛治
2. 歌劇イゴル公から ボロディン
〈ダッタン人の踊りと合唱〉
指揮：遠藤雅古
- 3 交響曲第6番 へ長調 Op68 ベートーヴエン
〈田園〉
指揮：若杉 弘

オペラ

11月3日 3.00PM Aプロ
11月4日 4.30PM Bプロ

「ヘンゼルとグレーテル」 フンバーディング
配役 ヘンゼル：貴島百子（A）荻野京子（B）
グレーテル：宮田雅子（A）山田恒子（B）
お父さん：高木靖弘（A）丹羽勝海（B）
お母さん：黒田あけみ（A）松田京子（B）

御茶の水美術学院 DK

学校法人 服部学園

●デッサン部・油 絵
日本画

普通科
研究科

●デザイン部・含建築

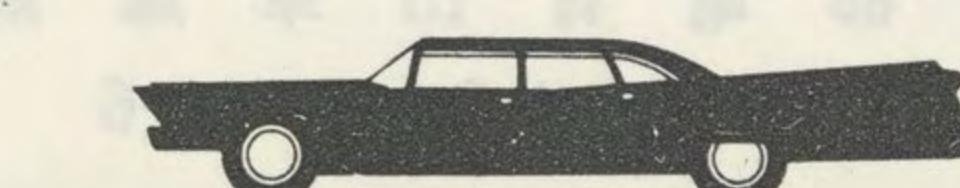
午前組
午後組
夜間組

集合所ができました。
どうぞ卒業生も遊びに
来て下さい！

東京都千代田区神田駿河台2~3 TEL (291) 0820

実技指導毎日

楽しいお買物の
散歩道.....



車でお気軽にお越し下さい。お客様専用のパ
ーキングビルはいつでもお楽に駐車できます。

伊勢丹

新宿

TEL (369) 1111

魔女：平岡敏子（A・B）
眠りの精：吉田順子（A・B）
露の精：平田晶子（A・B）
その他の子供達
伴奏：学生有志オーケストラ
指揮：遠藤雅古

一年弦楽合奏

11月3日 5.00P.m

1. ブランデンブルグ協奏曲 バッハ
2. Concert コレルリ
3. ダンス ドビイッサー
4. シンプルシンフォニー15 ブリトン

指揮 若杉 弘

邦楽演奏会

11月4日 12.30 P.m

1. 白の声
箏 塩原千恵子 大島ユリエ 小笠原節子 酒井英子
- 3弦 伊藤松博

2. 岡康祐

- 箏第1 岡村公子 洗井 英子 大島ユリエ
箏第2 高尾博子 塩原千恵子
箏第3 中村判子 小笠原節子
三弦 鈴木吉康 関 毅

長唄

1. 橡の木

唄 酒井克也 北野晶子 住友喜代子 前川拳公

宮武総子 伊東久枝 岡島梅子

三味線 関口定子 堀田千津子 芦沢瑞代 浅野武二

大木祥江 道家エリ子 寺尾弦子 中野 薫

吉田機一

バス 鈴木吉康 高橋武雄

上調子 中橋ヒナ 荒木倭子

ティンパニー 雨宮靖弘

シロホン 高橋美智子

笛 長谷川洋子

生田流

1. 西山検校作曲「秋の言葉」

箏替手 安藤郁代 羽場百合子

箏本手 竹本一恵 白石友紀子 打田宏子

2. 宮城道雄作曲「唐砧」

箏高音 海保照子 羽賀幹子

箏低音 伊藤敦子 渡辺孝子 池田道子

3弦 吉川富子

YAESU PIANO

● ピアノ、オルガンのことなら

東京駅八重洲南口前
(281) 0980 ~ 3, 0501

八重洲ピアノ



● ノーベル・ラルナー・ピアノ
その他各種ピアノ・オルガン取扱

日響ピアノ

渋谷都電青山車庫前
TEL (401) 1848・6026

C プロ

- 1 打楽器とピアノの為の協奏曲 ミヨー
打楽器：雨宮靖弘 Piano: 若杉 弘
- 2 ピアノ二重奏曲 Op 90 (Dumky) ドヴォルザーク
P: 渡辺英美 Vn. 林 瑶子 Vc: 館野英司
- 3 弦楽四重奏 ラベル
Vn I : 藤沢一彦 Vn II : 能見和絵 Vla : 寿 貞夫
Vc : 矢島富雄
- 4 弦楽五重奏曲 モーツアルト
Vn I : 吉村重子 Vn II : 町田映子 Vla I : 玉置勝彦
Vla II : 菅沼準一 Vc : 馬場省一

D プロ

- 1 弦楽四重奏曲 Op 51の2 ブラームス
Vn I : 林瑠子 Vn II : 前沢 均 Vla : 兎東俊之
Vc : 内田勝彦
- 2 スペイン舞曲〈ナバラ〉 Op 33 サラサーテ
Vn I : 能見和絵 Vn II : 林田紀子 Piano: 安芸彌子
- 3 13管楽器のためのセレナーデ モーツアルト
Ob 井口博文、二池延和
Cl 津田軍一、栗原浩、永田健一、村井祐児
Fg. 近藤寿行、山本直親
Hr 三浦朝光、沖公智、余野文昭 保科二智雄
Cb 松本武全
- 4 ブランデンブルグ協奏曲 第6番 バッハ
弦楽科有志

学生交響楽団演奏会

11月3日 1.00 P.M

11月6日 2.30 P.M

- 1 幻想的序曲ロメオとジュリエット チャイコフスキイ
- 2 サラバンド 森村寛治
指揮：森村寛治
2. 歌劇イゴル公から ポロディン
〈ダッタン人の踊りと合唱〉
指揮：遠藤雅古
3. 交響曲第6番 へ長調 Op 68 ベートーヴェン
〈田園〉
指揮：若杉 弘

オペラ

11月3日 3.00 P.m Aプロ

11月4日 4.30 P.m Bプロ

「ヘンゼルとグレーテル」 フンバーディング

配役 ヘンゼル：貴島百子（A）荻野京子（B）

グレーテル：宮田雅子（A）山田恒子（B）

お父さん：高木靖弘（A）丹羽勝海（B）

お母さん：黒田あけみ（A）松田京子（B）

楽しいお買物の
散歩道.....

車でお気軽に乗り下さい。お客様専用のパ
ーキングビルはいつでもお楽に駐車できます。



新宿

伊勢丹

TEL (369) 1111

魔女：平岡敏子（A・B）
眠りの精：吉田順子（A・B）
露の精：平田晶子（A・B）
その他の子供達
伴奏：学生有志オーケストラ
指揮：遠藤雅古

一年弦楽合奏

11月3日 5.00P.m

1. ブランデンブルグ協奏曲 バッハ
2. Concert コレルリ
3. ダンス ドビイッサー
4. シンプルシンフォニー15 ブリトン

指揮 若杉 弘

邦楽演奏会

11月4日 12.30 P.m

1. 白の声 箏 塩原千恵子 大島ユリエ 小笠原節子 酒井英子
三弦 伊藤松博

2. 岡康砧

- 1 箏岡村公子 酒井 英子 大島ユリエ
- 2 箏高尾博子 塩原千恵子
- 3 箏中村判子 小笠原節子
- 三 弦 鈴木吉康 関 毅

長唄

1. 橡の木

- 唄 酒井克也 北野晶子 住友喜代子 前川拳公
宮武総子 伊東久枝 岡島梅子

- 三味線 関口定子 堀田千津子 芦沢瑞代 浅野武二
大木祥江 道家エリ子 寺尾弦子 中野 薫

吉田機一

- バス 鈴木吉康 高橋武雄

- 上調子 中橋ヒナ 荒木倭子

- ティンパニー 雨宮靖弘

- シロホン 高橋美智子

- 笛 長谷川洋子

生田流

1. 西山検校作曲「秋の言葉」

- 箏替手 安藤郁代 羽場百合子

- 箏本手 竹本一恵 白石友紀子 打田宏子

2. 宮城道雄作曲「唐砧」

- 箏高音 海保照子 羽賀幹子

- 箏低音 伊藤敦子 渡辺孝子 池田道子

- 三弦 吉川富子

YAESU PIANO

● ピアノ、オルガンのことなら

東京駅八重洲南口前
(281) 0980 ~ 3, 0501

八重洲ピアノ



● ノーベル・ラルナー・ピアノ
その他各種ピアノ・オルガン取扱

日響ピアノ
渋谷都電青山車庫前
TEL (401) 1848・6026

ポップスコンサート

11月5日（土） 100P.m

■ルロイ・アンダースン名曲集 ■ヒット・スクリーン・ミュージック ■ストリングムード ■ミュージカルより
指揮：森村憲治・佐藤 真
管弦楽：芸大ポップスオーケストラ

古典音楽演奏会

11月6日 4.30P.m

- 1 Violin Concert E. dur. J. S. Bach
Vn: 伊藤浩史
- 2 Organ Concert Händel
Org: 山本照子
- 3 Coffee Cantata J. S. Bach
Sop: 赤沢和子 Ten: 板橋 順 Bass: 原田茂久
- 4 Concert Pour Quatuor Violin J. S. Bach.
Vn: 伊藤浩史 菅野武夫 館野晶子 能見和絵
指揮: 若杉 弘

ヴォーカルコンサート

11月7日 3.30P.m

1. バリトン独唱 丹羽勝海 ピアノ伴奏 萩原朝子
A フォーレ ①ネル ②愛の歌 ③月の光
B プーランク「アポリネールの四つの詩」全曲
①うなぎ ②郵便葉書 ③映画館の前で ④1904
2. 葡萄酒、アルバン・ベルグ
丹羽勝海
P 末吉保雄
3. 混声合唱 石井歡合唱曲集より
声楽科2年 全員
指揮: 鈴木善弘

作品発表会

11月6日 10.00 P.m

1. Fuite Sonata 作曲2年 比嘉 剛
2. Piano Trio 作曲1年 林 芳輝
3. 歌曲〈二つの心象〉北の国、旅立ち、
作曲2年 北村 昭

YAMAHA

ヤマハピアノ



日本楽器製造株式会社
東京支店 銀座7丁目1 TEL (571) 9151・9281

4. 小鼓による小品 楽理2年 久野寿彦
 5. Piano Sonata 吉崎清富
 6. Pour le Celle et Piano 作曲3年 鶴野元子
 7. Pianoの為の小品 作曲3年 牛腸征司
 8. バルキー・トーン 器楽3 雨宮靖和
 9. Quatuor 作曲4年 芦野英彦
 10. 墓誌銘 作曲6 平吉毅州
 11. 嬉遊曲 作曲3 山田光生
 12. 歌 審問 作曲4 竹内邦光
 13. Piano Concert 作曲3 中田直宏

ミュージック・コンクリートの会

11月5日 10.00 P m

- 小杉武久 オブジエ・ソノール
 水野修孝 ミュージック・コンクリートのための交響曲
 塩見千枝子 〈クレード〉
 戸島美喜夫 (波形)
 牧野圭子 Musique Abstracte

整理券発行について

奏楽堂に於ける演奏会は、奏楽堂が老朽化のため、整理券を発行いたします。整理券は、開演1時間前に正門受付にて、先着500名様に限りお渡しいたします。

邦楽演奏会

11月4日 12.30 P m

- 1 觀世流仕舞
 2 宝生流仕舞
 3 舞囃子

美術学部各科展示

- 日本画科 日本画科教室・日本画科第一デッサン室
 油絵科 油絵科教室
 図案科・工芸科 図案科校舎
 彫刻科 木彫室・彫刻科1年教室
 建築科 建築科教室
 金工科 木工室
 漆芸科 漆芸科教室
 芸術学科(スライド・絵巻) 美術学部第7・6講義室

催物

- 陶磁器研究部作品展 / 美術学部第4講義室
 舞台美術部展示 / 美術学部第3講義室
 版画研究会 / 伊藤教室
 工芸科 海外グラフィックデザイン集 / 金工入口ホール



渋谷・池袋
東横

● お買物がグンと便利になったトウヨコ



の小説お読みは
アサヒマガジン

- 工芸科 講演と映画会 / 第7講義室
 講師 山城隆一 (グラフィックデザイナー)
 河 潤之介 (インダストリアルデザイナー)
 映画 Norman Macrae によるアブストラクト・ムービー

社会と音楽家の相互関係 / 音楽学部66室
 グレゴリアンチャント研究会 / 音楽学部64室 / 11月3日
 前衛音楽発表 / 美術学部塑造第一教室
 より良い学生生活を送る為に / 美術学部第2・5講義室
 仮装ダンスパーティについて / 11月6日

屋外ダンスパーティの芸術祭最後の催しとして行います。
 ステージを中心に音楽学部のバンド、その他飛び入り仮装等
 等で大いに楽しみたいと思います。

屋外ステージと屋外ダンスパーティー

新しい芸術祭の雰囲気とその発展を求めて、我々芸大生の
 交流とお客様に楽しんで貰う場として、屋外ダンスパーティ
 を大々的に行います。

場所 美術学部食堂前
 ステージ (成作) 建築科
 時間 芸術祭期間中毎日5.00 P mより
 バンド 音楽学部5つのバンドによる編成
 その他昼間ステージを利用して音楽学部屋外演奏を毎日行
 います。雨天の場合は美術学部食堂で行います。

東京芸術大学演劇研究会芸術祭公演

木下順二作 蛙昇天 五幕

11月5日 (土) 3時半 奏楽堂

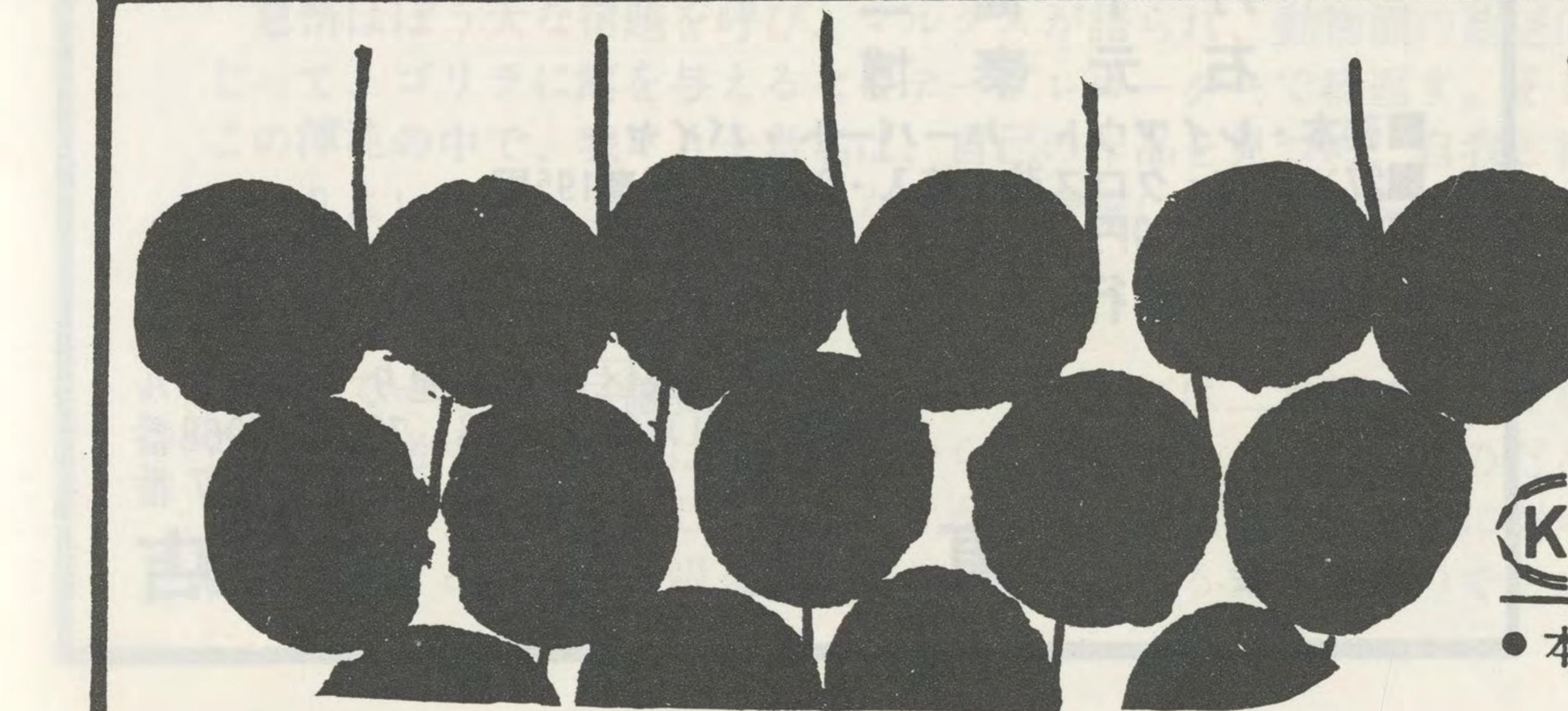
ス	タ	ッ	フ	肇	一	横	山	佐	尾	橋	伊	永	高	佐	高	橋	驚	慎
製	作	稻	井	一	レ	伊	佐	尾	橋	和	永	高	佐	高	橋	驚	慎	
演	出	村	井	和	娘	永	佐	尾	橋	夫	高	佐	高	橋	驚	慎		
演	助	手	岡	紀	子	高	佐	尾	橋	達	男	(プロローグ)	①	高	橋	驚	慎	
舞	監	督	本	哲	也	②	高	橋	野	敬	挺	身	隊員	③	高	橋	驚	慎
装	置	野	田	哲	也	④	高	橋	驚	雄	身	隊員	⑤	高	橋	驚	慎	
						道具、小道具製作、舞台美術研究会	手	志	賀	泰	子	若	い	男	若	い	男	
						助	明	池	田	太	郎	少年のオタマジャクシ	照	明	池	田	太	郎
						照	泰	佐	々	木	瑛	寺	寺	穂	寺	穂	寺	
						衣	裳	豊	咲	保	夫	稻	井	岸	稻	井	岸	
						警	高	島	美	枝	子	谷	康	哲	泰	穂	寺	
						効果・音楽	平	岡	紀	子	スルリ	委員	メイキヤップ	高	橋	山	岸	
						メイキヤップ	高	橋	山	洋	クイック	委員	シコケグ	豊	須	信	枝	
						キヤス	ト	咲	島	正	エロ	委員	シコケグ	一	口	口	口	守
						シ	ユ	豊	保	正	ヌルリ	委員	シコケグ	レ	口	口	口	守
						コ	ケ	須	信	子	クイック	委員	シコケグ	ケ	口	口	口	守
						ゲ	一	口	枝	女	エロ	委員	シコケグ	キ	口	口	口	守

正しい音律と最新のデザイン

KAWAI'S PIANO ORGAN

KK 株式会社 河合楽器製作所

・本社 / 浜松市寺島町200・東京支店 / 東京都中央区銀座1の5



TOP KYO GALLERY

銀座西並木通り TEL (571) 1808. 7825

<特集日宣美展>座談会ビジュアル・デザイナーの役割(高橋正人・浜口隆一・浜村順)第6回毎日産業デザイン賞(原弘・小杉二郎・勝見勝)ハーマン・ミラーのデザイン(水之江忠臣(仕事場から)(河野鷹思)印刷の知識、オバブリント(小池光二)

アザイン
10月号 発売中!!
A4判多色刷5頁
グラビア版16頁総50頁
定価￥250円+15円
美術出版社
東京都新宿区市谷本村町15
振替東京 166700 TEL (332) 5221

お買物は都心のタカシマヤへ…

- 落着いた雰囲気と行き届いたサービスそして洗練された商品をどこよりも豊富に取揃えておりますのできっとご満足のゆくお買物が楽しんでいただけます。

東京・日本橋

高島屋

電話代表(271)4111

各科紹介

美術学部

■油絵科

随分と古風な建物で驚いたでしょう。随分と薄暗い教室にまごついた事でしょう。でも(デモではアリマセン)これでも文明国家と称される日本の國の唯一の国立芸術大学なんですからね。(もっともカレーライスぐらいは食堂で食えますが)僕等があきれているんですから初じめての貴方達の驚くのも無理ありません。しかしほん等は別に失望しません。國家の文化的貧困と僕等が絵を描いている事とは別に関係のない事ですから。でも皆さんその割には、いやその様な点を割り引いて見なくとも何々の傑作があるじゃありませんか。そうでもないって。それはね貴方の眼が知らない内に文化的貧困なる我国の實にカレーライス的感覚に染まってしまった結果なんです。ではどうしたら良いかと云うのですね。そうです、そん等の会場で一時間でもたゞんでいればきっと貴方は何かをさとりりますよ。本当に。まあ感想は後で一ぱい飲みながらでも。勝手な事を書きましたが失礼。

■日本画科

日本画科、このすばらしい居心地のよいところ。眼のくらむ若さと、エネルギーと、鮮麗な絵具と、伝統と理想と、窓のみどりと豊かな日ざしと。

怠惰はぼう大な宿題を呼び、マルクスが語られ、動物園の放送は、金工科のトンテンカンの音にまじって、ゴリラに餌を与えるなどテプレコダーで繰返す。そして二階の水道はいつも水が出ない。この渾沌の中で、我々八十数名は、自己の作品を見つめ、自我と社会の認識を深め、一步でも半歩でもよりよい方向へと、つまずきながらも着実に歩むことを志向する。

■彫刻科

東京で一本立を目論むおカタも、せめて彫刻は一本足で立たせたいものだと《立っている人》を巡っては苦労する。時には《人は昔からの習慣で立っている》のだとテンからの信じ込みやあきらめに近い気持で《近道》をしようと思うが、これでは昔、むかしに創られた正十一面体などの素敵さを、「ほほう」という一呼吸をもっておしまいにするようなものです。それより「後姿のおかしさよ」と

最新刊 桂
日本建築における伝統と創造

■日本建築が世界に誇る、民族遺産「桂離宮」を近代的なフレッシュな感覚でとらえた決定版!

■著者 ワルター・グロピウス
■撮影 丹下健三
石元泰博
■表紙・レイアウト ハーバート・バイヤー
■27×28種・クロス装・箱入・259頁・写真195図
■定価 3,200円
■造型社発行

東京都中央区日本橋通り・中内ビル
電話 東京28局(28) 7067・7068番
振替 東京 67687番

株式会社 東光堂書店

て駆け込み勇んでは見たが「なあんだBetter Okachimenkoさんであられたか」と諦める等の日常茶飯事の方が《メのカガヤキ》がある。顔色は悪くはないが《彫刻して来て今までにいいたい既成のケータイが生んだムードの他に何を見つけたのだ》と言う悩み秘めごとを持っている。どうにかして、すでに出来て居る《モヤモヤ》を一枚一枚剥いでいこうと、とどまる事なく《やる》デッカイことは言いにくい身の上だが《オレが——このオレが今この場で何をか成さん!》の鼻息がないと彫刻科はおさまらないんだ。

■建 築 科

君は知ってるかい、僕は人間より大きな脳ミソを持って居るんだよ。一番頭のいいのは人間様だなんて、うねぼれちゃいけませんよ。

うねぼれがうねぼれた奴を生みだしてきたんだよ。恥じ知らず!

『科学と人間をつなげるは建築家とデザイナーしか居ない』なんておだてられて、意気揚々とやれる社会だ。やれ人間だなどとわいわいって居るうちに、僕等にとってかわられてしまいますよ。

—— イルカより ——

■漆 芸 科

わたしは漆を以って文化に寄与せんとするものです。(A)

.....ともかく、住居は芸大隨一のですが.....(B)

こよい漆にかぶれんか.....明日はいざ知らず。(C)

短所—ACADEMISMのKONKONCHIKI—でも知つて入ったんだ、授業料が安いので一長所。(D)

行く人は足を停めよ、この館こそは妙なるやから共のいたずらに雲をながめて夜の張を待つところ。

芳醇を求めて山をくだることも時にはある。(E)

■金 工 科

かって祖先の中に脈打っていた、未分化のエネルギー、現代人の失っている物を我々は動物園の隣

りに住まい、再びそのエネルギーが体内を脈打つのを感じる。朝な夕なのギヤとかウオーの猛獸の叫びを聞く時、我々はかって祖先が荒野を走りまわっている姿を思い起す。ある哲学者は「人間とは半分動物で半分は天使である」といった。世の人々は理性だ知性だといって天使に近づこうとする。これは皆んな言訳の切れなんだ。我々は渾沌とした中に烈しく迸る生の生命力を持ち、燃えさかる炎を見て身も心も踊り狂い、泥を浴び、金を焼き、叩き切り、熔しこんで喜んでいる。心は生でも世の先端の機械を用いているんです。金は熱すれば柔かく鍛えれば強くなる。これがシンボルなのです。禁じられた下駄履の許される所。一番美しいトイレのある所、動物たちと恋もできる所、こんな自由な雰囲気の工場の中で、金工の方々は残された青春をむさぼっているのです。うんと恋をし、うんと食うのが楽しみなんです。

■芸 術 学 科

野郎——芸術の生死を背負う俺たちの肩、この重さ、傷つき、退く事なしに衝突する。ダテやスキヨじゃない。あい変らず追求のくり返し。.....トイウヨウナコトワない。

女ども——みんなデッサンしたり、粘土こねたり、あそんだり、食べたり、飲んだり、本よんだり。.....トイウヨウナコトワない。

■図 案 科

工芸科の中に図案計画専攻というクラスが、2年3年4年と3クラスありますが、工芸科という70人のクラスの出現に次第に押し出されていく感じです。上野の山に通うこと2年3年、年々変わる芸大風に先輩は昔をなつかしますが、ドライでいかす男の子や女の子がシャレタ服に身をつ、み様々シルエットを描いています。あいつはグラフィックだ、彼はIDだなどとはいうものの日本画あり、油あり塑造ありとあらゆるものに手を染めます。全ての可能性に手を伸ばしているわけです。デザインは大変なものだと分るのは結局卒業を目の前にしてなのです。

●メイソン・ハムリンピアノ ●ホルゲルピアノ



小野ピアノ

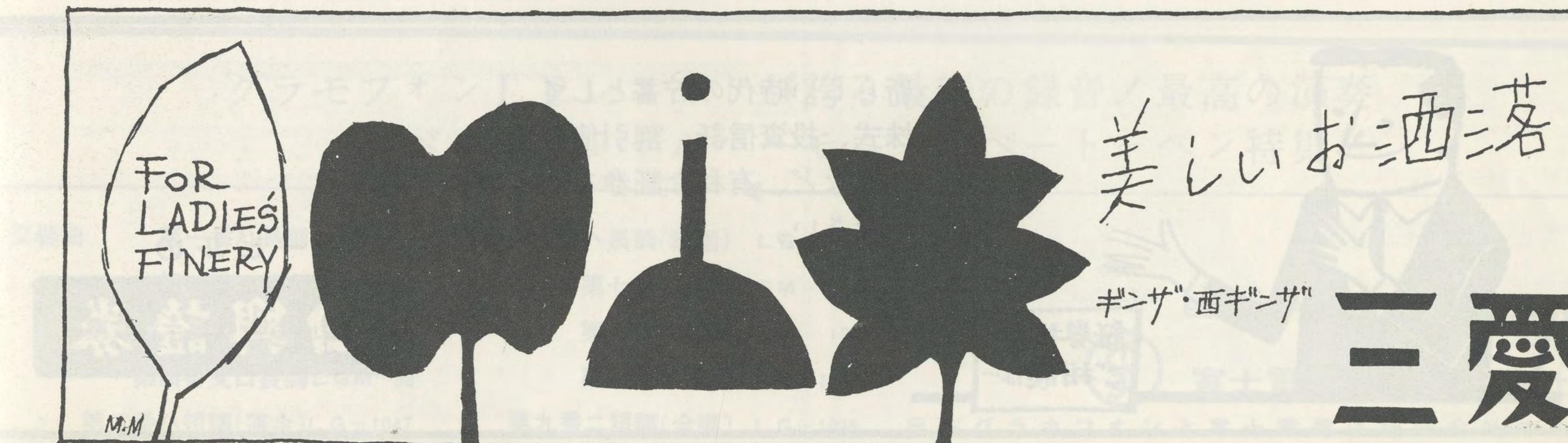
本支社

支店

店舗

工場

東京都港区芝公園21号東京タワー前 TEL (431) 810 1208
大阪南区千年町十一
仙台市立町一一四
湯河原駅前通り



■工芸科

多少とも Otomechikku になったとしたら、それは夜の青き溜息 Violin の秘めしさやきの為とお思い下さい。天下の秋は桐一葉で知り、天下の Design は工芸科で知るのです。Design は身で知るのです。しかるに「小人の学たるや、耳に入りて口に出す。口耳の間僅かに四寸のみ。なんぞ以て七尺の軀を美しくするに足らんや」であります。まして目から鼻に抜けるが如きわざびの様な食えない輩を以て秀才とはもってのほかです。彼等は鼻つまみの臭才なのです。嬉しい事に広く天下に人物を求める我等は四才の臭才に有らずして、7 尺~4 尺の? 才なのです。そして? 才なるが故の悲喜劇は A B C のゴム印の波となって押し寄せます。しかし弘法大師は筆のあやまり故に一層有名です。我等は下手なるが故に秘かにごきげんなのです。リンゴも木から落ちると Newton を助けます。

音楽学部

■邦学科

四階の片隅から管楽器の音とのバランスよろしく? 聞えてくる日本調の冴えた? 音色、これが音校の異色的存在、邦楽一家であります。日本古来の最高芸術に伝統を重んじ時代感覚を取り入れた新風を起さんと、日夜張り切っている連中。日頃ドライでもいざ、紋付、ハカマ姿で舞台に立てば、なかなかどうして貫録充分! ちょっとのぞいてごらんなさい。あの演奏会場での神妙な顔を! あの人が!! と思うでしょう。どうです少しは見直しましたか?。

■声楽科

声楽科あっての音楽学部というと大袈裟ですが、その存在は重視されます。仮に、声楽科全員が登校しなかったならば、音校は閑散としてしまうでしょう。音校の約半数は声楽科が占めています。雨にも風にも負けず、若さと情熱を発声にかたむけるので、時には、絶叫や絹を裂く悲鳴のような声を出

新しい時代の貯蓄として
株式、投資信託、割引債券、
社債など、有利な証券をご利用
ください。

マネービルの
日興證券

証券投資の
ご相談は…

すこともあります。それを聞いて、煩さいとおっしゃる御仁もありますが、それも、我身に鞭うって音色を研究すればこそなのです。愛する楽器が生身ゆえ、常時健康に注意します。畢竟、一日二合のめしと一杯のみそ汁という訳にはゆきません。

扱て、声楽科はその数に比例して大変賑やかです。潑剌としています。また、友情に厚く、映画や喫茶店に誘われた時など、向学心を抑えて同道します。うてば響く心意気が、大家族のチームワークを支える所似です。

喜怒哀樂の感情は歌に託し、悩みを芸術的に解決します。兎に角、声楽科の雰囲気の中でよく学び遊べば、四年間が瞬く間に過ぎ去ってしまいます。

■器楽科（弦楽器）

ピアノ科、曰く弦楽科は「甘すぎる和菓子見たいな感傷詩人」と言う。どうしてどうして、とんでもない話。高音部はヴァイオリンから低音部はコントラバスに至るまで音域は広く、この様に弦楽奏者のハートも大変広く、又、眞の大芸術家は、弦楽器に多い。眞の芸術は弦楽の探求なしには、生れ得ぬと言っても決して多言では無い。しかし、中には今、牛缶で騒れている「馬のシッポ（=弓）で羊の腸（=絃）を朝から晩までしごいているがめつい奴もいるが、そういうのは、例外である。又、芸大の弦楽科は多量の女性によって占められている。又、皆一生県命稼ぎ? 又、適当に勉強している。又、女性群は非常に大人しく?? 非常に真面目で?? 口説くにも大変手間がかかる? 男性はと言うと、ハンサムばかりで学校中の女の子にモテて仕方がなく、皆困っている。他の科の男性諸君よ一つ応援を頼む、SOS。我は弦楽科の一男性成り。

■器楽科（管打楽器）

今日は、お元気ですか、私達管打楽器を専攻している学生は元気で勉強に励んでいます。学校に来れば毎日、新館の四階からパーペー・プー・ペ・ポン・シャンとうるさい程聞こえて来ます。非音楽的な音も沢山ありますが、だからこそ、それが音楽的な音になる様に、みんながそれ努力しているから、この様にぎやかなのです。出来ても出来なくても、4年間で学校からほっぽり出さ

グラモフォン LP レコードが誇る最新の録音! 最高の演奏
ベルリンフィルハーモニーのベートーベン特集!

交響曲	第一番ハ長調 L GM-29	交響曲第六番ヘ長調(田園) L G 1038
"	第二番ニ長調 L G 32	" 第七番イ長調 L GM 131
"	第三番ホ長調(英雄) L XM-25	" 第八番ヘ長調 L GM 127
"	第四番変ロ長調 L GM 58	" 第九番ニ短調 L G 1034
"	第五番ハ短調(運命) L G 1047	" 第九番ニ短調(合唱) L G 1035



日本グラモフォン株式会社
富士電機製造株式会社

日本グラモフォンと富士電機は姉妹会社です

れる訳ですが、それでも殊勝な心がけの人がいて5年も6年もがんばっている人もいます。でも私達は皆んな元気で、明るい性格な人ばかりで偉人ぶった人はいませんから円満にいっています。この芸術祭にも大いに活躍しますからどうぞお聞き下さい。では又……

■器楽科（ピアノ）

ピアノ科は勤勉で真面目だというが、いつも上の言葉だが、それは他の科と比較してのこと、一般的にいってどの程度までだらうか。伴奏に追われ合奏もやり、半分は自分から楽しんで行っているが、自分自身の勉強をまとめるのに大忙しで、よそ目には勉強家に映るのだ。それでもこの卒業する迄の12回の伴奏合奏の試験が、8回に減り後から入学した方が得だとボヤいている向もある。

昔のように演奏旅行とかコーラスというものが無いので、殊に上級生になると個人的生活ばかりに陥ってしまう。こちらとしては皆一緒に行動に羨望の念を抱き、時には自主的に会など開いている。まあせいぜい暇な時を作成仲間入りをしましょう。

■指揮科

各科を見廻して最少世帯の此の科は教官5名、学生3名、最近は女性の進出各科に目覚しいが此処ばかりは男世帯で各科各様といったところ、指揮者となるためには音楽上のこと加えて、統率力と暗示能力がなければならないと言うし他の困難な境地を開く、修業と同じ様に、ヨゴレ役の中に経験を積み、途上一本の棒に全てを託して一本勝負の気持で……ヤレヤレ……。

■樂理科

音校内を一わたりしたとき、一番大人しそうなグループ、又、一番大人しそうな坊っちゃん、おじょう様を見かけたら、「あのう、失礼ですが……樂理科の方でいらっしゃいますか？」とおっしゃって見て下さい。「はあ、……」という返事は保障致しましょう。

しかし、である、その大人しさは外見だけという場合が多い……考える事のあまりの多さに、自然頭はうつむき、肩はすぼまる。

うたったり、弾いたり、吹いたりを音楽と考えていた頭に、それは、音楽の、ほんの一面にすぎないのだということを、もう沢山！と云うたくなる程考えさせられてしまうから歩く時に、自然、あ、いう恰好になってしまふというわけです。でも、いつも哲人のように考えてばかりではありませんよ、4、5人集まれば、すぐにカルテットも出来れば、ジャズバンドの真似事だって出来るんですからねエ……！

■作曲科

おそらく、狂気にも似た激しい個性がその根源に要求される「大作曲家」と云う奴に一度は憧れた連中であろうと思われます。一見、平凡で能のなさそうな顔はしていても（顔が立派になって行くのは未だこれからですから）時には情熱的に、時には影の薄れる程物静かに、時には、俗物根性まる出しに、仲間と議論したり、一人で「物想い」になどふけったり、安保反対のデモに勇み立って出かけたり、安いアルバイトにバーのピアノを弾きに行ったり、かと思うと誰も気付かぬうちに延々たる習作をものにしていたり、およそ、その人の本来の人柄の把まえ難い相手です。と云った様な事が原因してか、我々の科では、まるで同じ学校の同じ科であろうとは信じられぬ位、皆それぞれ異った生活体勢を持って暮しています。強制された学校の課業以外には良くもまあ、こんなに違った生活を持つ人々が同じ一つの科の中につめこまれたものだとしか云い様がありません。

■副科オーケストラ

時は春、金曜日の朝9時の事、不慣れな恰好で、ヴァイオリンらしきケースを下げたのが、あっちから一人、ごそごそとお蔵から引っぱり出して来たばかりのチエロをかゝえたのがこっちから一人…こうして普段は、奏楽堂では見かけない顔が、15、20と集って出来たのがその名新しき「副科オケ」。恐れ多くも、金子先生のご指導のもとに、いとも妙なる音を奏でながらも、一生懸命練習を続ける此の合奏グループも誕生してから数ヶ月になりますと、純粹に音を楽しめる学内唯一のアマとしての特性を生かしながら段々成長して来ます。皆さんどうぞよろしく。

EASTEN

東京ピアノ株式会社
本社・東京銀座西7
TEL.(571) 75・981
工場・宇都宮市中戸祭

是非御試弾下さい
独乙ブルツナー・英国ジョンブロードウッド

日本総代理店
株式会社 内外ピアノ社
東京都千代田区神田神保町一丁目一番地
電話 (291) 2583・2584

電気ピアノ

ピアネット

■ 音色の魅力 ■ 生きた特長

#タッチがピアノと同じで 音楽の勉強や練習に最適です
#電蓄としても すばらしいレコード鑑賞ができます
#音量調節ができ イヤホーンも使えます
#魅力に満ちたさわやかな音色

発売元 協和商事株式会社
東京都中央区京橋1～3 TEL (561) 3980

定価 66鍵 / 59,000円 75鍵 / 69,000円

クラブ紹介

演劇部

私達蛙の世界にも色々のことありますよ。アカイのもいれば、右向きのもいるし、異性の前でシナをつくったりするのもいる。ギャーギャー騒ぐ政治屋もいれば、詩を書いて自殺するのもいます。色々なことが起る訳ですな。どうです、ちょっとカエルの世界へ遊びにいらっしゃいませんか。

演劇研究会公演舞台美術部参加・木下順一作「蛙昇天」プロローグと5幕。

舞台美術研究部

今回の芸術祭を契機としていろいろな意味で部における活動を新しく考えていこうということで、今までの活動のあとをふりかえってみました。今日小松栄先生を顧問に迎え我々の今まで足りなかった点についてもこの機会に考えあらためて舞台における造型面の研究に取り組むための足掛かりにしたいと思います。

民主主義研究会

安保騒ぎで日本中がカーッとなつた時にそれでなくとも人一倍頭にくる音校生の中で特にデモに参加した人達で結成されたものです。それじゃあもう安保騒ぎも終ってしまった今ダッコチャンよろしく活動も一頓座じゃなかろうかって？そこはそれ、芸術は長く人生は短しと彫つてある彫刻の前を通る音校生のこと夏休みに嵐をついて富士山麓は西湖畔での徹夜の議論に始まり未だこの会の基本的性格についてさえ意見がまとまらないという程。

バレーボール部

「女子部が出来たんだってね。」「うん。」「強いんだってね。」「大したものさ。」「美人ばかりなんだってね。」「勿論。」「本当にしてくれるかい。女子部に。」それにしても美女と野獣合せて30名とは、バレーボールも成長したものです。

バスケットボール部

黒白2色の一名「葬式スタイル」なるユニフォームをご存知かな？昨冬結成されてまだ10ヶ月そこそ。技術には乏しいが反則は豊富。春の二美大対抗では初参加ながら京美を軽く一蹴、金沢をもあわやと思わせたが接戦の末一ゴール差で惜敗。この部にもう一つ欲しいものは女性の応援。スマート

な人達ばかり居るスマートな部として定評あるのだが女性にモテないのはどういうわけか？でも若さと芸大に似合わぬチームワークのよさにものをいわせて大活躍。

硬式テニス部

総勢42人の大世帯。男女の比率は六分四分、神様は割合親切のようだ。本職に負けず練習に現われて兎角勝つのが女性ちょっと遠慮して、デビスカップならぬデベソカップでも取れたらと一生懸命。でも予想は守衛さんにきいてもらわなくては……。

軟式テニス部

我芸大でこれ程美男美女？の揃っているクラブは一寸無いくらい。腕の方もと言いたいが……。ナイショ話ですけれど国立公大会で常にビリを保っているのが唯一の自慢。兎角部に入ったら途端に一流選手ナスカラ。オワカリカナ。

山岳部

貧乏絵描きと樂士共が山中に別荘をおたてつようたあ山の神もブッタマゲーションマークだろう。芸大ヒュッテと名前も仰々しくたてまつる勢とくらあ。場所は信州、松本からガタな電車で一時間半の築場でエケチな駅で降りてくんナ、中綱湖でエ水溜りにウインクしつつ2時間ばかりテクリやあ御別荘へ到着てエ寸法ヨ、鹿槍の双耳峰がガツツリ目の前に連つて絶景この上のね工所だ、来年の正月にやあ御門開きてエ算段よ、新年早々遠見の尾根にシコフレームをやろうなんてえ野郎も少くねエことだろう。おめえさんも来てみねえかよ、待ってるぜ。

卓球部

ポーカーフエースのちょっとハンサムなIさん。強くないけど敗けないKさん。足の太さじゃ負けないO子さん。当たら穴のあくようなスマッシュのMさん。ぞうりをはいて熱戦のHさん。おもしろいですよ。

野球部

自称他称？名選手ばかりずらりと名をつらね毎年春秋の公式戦に連戦連敗その強いこと群を抜いています、唯女性がない事は何と申しましょうか道具もやっこや、そろい、練習もよくります？球場がないことはこまつた事で、何とか景気とかの御時世グランドぐらいはせめてほしいと思っています。自称長島が大勢そろつていてにぎやかに試合をはこび野次だけは天下一品。このチームの自慢は皆名選手？なので

練習しなくても十分やっていけるところによい所があるのでないでしょうか。

ラグビー部

いと滑稽味を帯び福よかかる円みと一度弾めば何処に行くかも予測の付き難き歪みし球に小猫の如く戯れ戯むれて恋人を抱かんが如くに小脇に抱きて走り転げる。試みに辞書を紐ときてみれば、ラグビーとは『フットボールの一種、イギリスのラグビーユニオンにて採用せられたる形式のもの楕円形の球を用い競技の人員は各15人にして球を蹴り飛ばすは言う迄もなくこれを持ち運び得べきのみならず更に敵を排撃することも許され競技の頗る壮烈なるもの』である。

猫の額に等しきグランドを所狭しと転げ回り試合を控えし23日前なれば一段と激しさを増す。部の面々たるや又紳士たる珍士である。芒を踊れば又絶妙この上なし。ではごめん。

スポーツマンクラブ

とかく音楽等を学んでいる学生は運動不足がちです。それで云うまでもなく楽器と自分だけいつも屋根あるところ楽譜とにらめっこをしています。ですから適当なスポーツをするチャンスがなかなか有りません。そこでスポーツマンクラブが発足したわけです。健全なる精神は健全なる身体にやどる、又健全なる音楽は健全なる精神にやどると。

ボクシング部

体が立派に成りたい人。絵を描くだけではつまらない人。人生に飽いられた人、飽きた人。色々な気持で一生懸命あるいは適当にボクシングをして居ります。そういう彼等にもボ

クシングをする上での共通の目的が一つあります。それは……逆説ばやりの現代に生きていてともすると見失いがちな自分をたえず必死にとらえておこうという事です。あんな下らん事をしながら、とおっしゃいますか？ その下らなさがすごく大切なですよ。

体育館で又庭の片隅で、彼等のボクシングなるものを御覧になりましたか？ なんと可愛らしい姿でしょうという私も実は芸大ボクシング部員の一人なのですがね。

空手部

へたな字のくせにラブレターばかり書いているB。一年中おけらのK。青白くて陰険なMもてないくせにもてた話ばかりするH、始終にやにやしてるS。自称女学には絶対自信のあるT。いんきんで気が苦いそうなA。別名人食土人のE、紅一点で近頃とみに美しさを増したNさん等々、まじめで輸快な連中ばかりである。

陶磁器研究部

概要——子供の泥いじり“大いなる芸術味”
やから——なんだ 茶わんの一つや二つって意気込んで来る純真な可愛い奴。

気質——我を天下の天才と信じ、壊れるくやしさにふくれて——土がわるいんだと単純に信じます。

作品——そだちがこんなにも人間味豊かなので、作品に血が通れない筈はありません。

将来——茶わんであれ、つぼであれ、徳利であれ何んでもそろえちゃう——だから、あなたにとって、あなたのハズに、ワイフに、こんな好都合な立派な心がけの人物は他にありません。

SCHWESTER PIANO

シュベスター・ピアノ販売株式会社

東京都大田区北糀谷町2479
(731) 3547 0307 9075

■美術学部 自治会

静かな秋がめぐって来た。芸術祭は、私達の日常生活の精華である。例年問題となる事だが、最も重要な事は、芸術祭の目的・意義と、更にこれを具体的に表現するための内容形式の問題である。これが芸術祭の明確な性格づけ、その一部として表われるテーマ性の問題を意味づけ、全体をつらぬく一本の太い綱のような物の存在となる。今年は当初、4月からの生活課程で得て来た経験の上に、力強い一貫したテーマを持つ祭典へと方針づけられた。単に我々個人の通常の授業内容を羅列するのみでなく、もっと幾多の主体性を盛り込んだ創造的作品を我々の芸術理論を確立しつつ発展する、事を意図していた。しかしこれには目的、内容につき積み重ねられた綿密な討論が必要であり、全体の意志統一がなければならぬ。今年は期日の関係等で思うにまかせなかつたが、一部で意欲的に脱皮が試みられ、又表現の内容形式に於いては初めて全体計画がなされ、統一を保つ。さらに音・美合同計画がより密接になしとげられた。これはひとえに先のテーマ性の問題への過程となるものであり、又今後、この方向に進めてゆかねばならない。我々の仕事は孤立してなじえるものでない。芸術祭で我々の共通の意志を表示する事こそ必要なのである。両学部、各科交流を通しての知的接触の中に自己の脱皮がなされ、芸術大学の大学たる長所を発揮出来るのである。今年4月に始まった学園生活は、社会の中での自己的責任の目覚め、あの安保斗争に始まったといつても過言ではないだろう。不正への怒りと、自己解放への躊躇。私達は混沌を続けながらも前に進んだようだ。3ヶ月もの長い間、私達は学業よりも、これがこの時先行するものある事をはつきり知っていた。そして7月、校庭をおおう虚無と犠牲と不安の中に、一点の光となって定着するもの「不正への発言の姿勢」があった。これは芸術祭にいろいろな形で表われようとしている。テーマ性の問題を獲得する糸口となり、基盤となろうとしている。運営の面でまれにみる充実を見たのも、その中で得た横への連帯性と云つたものが支え、飛躍への一つの基盤となっている。二生年は修業旅行に出かけ、秋もまたなく終る。この一年の成果を、自分等の姿を、じっくりとみつめたいと思う。

(岩崎駿介)

■音楽楽部 学友会

学友会には、音楽学部学生全員が属し、その代表たる学友会委員会は、各クラスから一名づつ選ばれた32人の委員により構成されています。さて我々、音楽学校の学生は、はたの見る様な、ロマンチックな、又、デカダンな存在ではないのです。事実我々は世に云う芸術家タイプ…………つまり19世紀的な古くさい衣は、ぬぎ捨てようとしているのです。現代に住む我々は、その生の皮膚を直接現実にさらさなければなりません。冷たい風を遮断する“宮廷の戸”も、『サロンの窓』も20世紀にはないのです。そして逆にこの事が我々を勇気づけ、その仕事をより完成されたものにするのです。たとえば、5月6日の安保問題の時もそうです。この問題に以前から関心を持っていた学生は、すぐさま立ちあがりました。そして学友会委員会も、この様な問題に対処するには、はなはだ不完全な組織であるにもかかわらず、アンケートをとったり抗議文を書いたりして、この問題を真剣に考えました。

委員会で相互の意見の別れた事もあり、色々の学生の意見を聞いたあげくに、委員個人が混乱した事もあります。正直に云って、人より一步も二歩も遅れた歩調で歩いたのは事実です。しかし我々は、現実から逃げる事はしませんでした。

又、伊勢湾台風や、チリ津波の時も、わずかではあったにせよ、出来るだけの援助をさせていただきました。とに角、我々が一日24時の大部分を音楽の為に費いやしているのは事実だとしても、我々は一人の良い芸術家・（又は音楽学校の学生）であるよりも前に、一人の良い社会人でありたいと、常に心がけているのです。

さて今日は芸術祭。今年は音美両学部が真に一体となって、少しでも楽しい芸術祭になる様に努力したつもりです。どうぞ、奏楽堂で演奏される我々の日頃の勉強の成果に鋭い、しかし好意ある御批評をしてくださる様、お願いします。又それと同時に野外ステージでは、在校生とともに、充分楽しんでください、そしてこの複雑な現代社会の中で、より良い音楽文化を作るべく日々努力している我々、頭の中には西洋音楽の理論を、そして血の中には別の伝統の音楽を持った音楽学校学生の有りのままの姿を、少しでも理解していただければ幸いです。

(藤原義久)

練習しなくとも十分やっていけるところによい所があるのではないでしょうか。

ラグビー部

いと滑稽味を帶び福よかかる円みと一度弾めば何処に行くかも予測の付き難き歪みし球に小猫の如く戯れ戯むれて恋人を抱かんが如くに小脇に抱きて走り転げる。試みに辞書を紐ときてみれば、ラグビーとは『フットボールの一種、イギリスのラグビーユニオンにて採用せられたる形式のもの楕円形の球を用い競技の人員は各15人にして球を蹴り飛ばすは言う迄もなくこれを持ち運び得べきのみならず更に敵を排撃することも許され競技の頗る壮烈なるもの』とある。

猫の額に等しきグランドを所狭しと転げ回り試合を控えし23日前なれば一段と激しさを増す。部の面々たるや又紳士たる珍士である。芒を踊れば又絶妙この上なし。ではごめん。

スポーツマンクラブ

とかく音楽等を学んでいる学生は運動不足がちです。それで云うまでもなく楽器と自分だけいつも屋根あるところ樂譜とにらめっこをしています。ですから適当なスポーツをするチャンスがなかなか有りません。そこでスポーツマンクラブが発足したわけです。健全なる精神は健全なる身体にやどる、又健全なる音楽は健全なる精神にやどると。

ボクシング部

体が立派に成りたい人。絵を描くだけではつまらない人。人生に飽いられた人、飽きた人。色々な気持で一生懸命あるいは適当にボクシングをして居ります。そういう彼等にもボ

クシングをするまでの共通の目的が一つあります。それは……逆説ばやりの現代に生きていてともすると見失いがちな自分をたえず必死にとらえておこうという事です。あんな下らん事をしながら、とおっしゃいますか？ その下らなさがすごく大切なですよ。

体育館で又庭の片隅で、彼等のボクシングなるものを御覧になりましたか？ なんと可愛らしい姿でしょうという私も実は芸大ボクシング部員の一人なのですがね。

空手部

へたな字のくせにラブレターばかり書いているB。一年中おけらのK。青白くて陰険なMもてないくせにもてた話ばかりするH、始終にやにやしてるS。自称女学には絶対自信のあるT。いんきんで気が苦いそうなA。別名人食土人のE、紅一点で近頃とみに美しさを増したNさん等々、まじめで輸快な連中ばかりである。

陶磁器研究部

概要——子供の泥いじり“大いなる芸術味”
やから——なんだ 茶わんの一つや二つって意気込んで来る純真な可愛い奴。

気質——我を天下の天才と信じ、壊れるくやしさにふくれて——土がわるいんだと単純に信じます。

作品——そだちがこんなにも人間味豊かなので、作品に血が通れない筈はありません。

将来——茶わんであれ、つぼであれ、徳利であれ何んでもそろえちゃう——だから、あなたにとって、あなたのハズに、ワifに、こんな好都合な立派な心がけの人物は他にありません。

SCHWESTER PIANO

シュベスター・ピアノ販売株式会社

東京都大田区北糀谷町2479
(731) 3547 0307 9075

■美術学部 自治会

静かな秋がめぐって来た。芸術祭は、私達の日常生活の精華である。例年問題となる事だが、最も重要な事は、芸術祭の目的・意義と、更にこれを具体的に表現するための内容形式の問題である。これが芸術祭の明確な性格づけ、その一部として表われるテーマ性の問題を意味づけ、全体をつらぬく一本の太い綱のような物の存在となる。今年は当初、4月からの生活課程で得て来た経験の上に、力強い一貫したテーマを持つ祭典へと方針づけられた。単に我々個人の通常の授業内容を羅列するのみでなく、もっと幾多の主体性を盛り込んだ創造的作品を我々の芸術理論を確立しつつ発展する、事を意図していた。しかしこれには目的、内容につき積み重ねられた綿密な討論が必要であり、全体の意志統一がなければならぬ。今年は期日の関係等で思うにまかせなかつたが、一部で意欲的に脱皮が試みられ、又表現の内容形式に於いては初めて全体計画がなされ、統一を保つ。さらに音・美合同計画がより密接になしとげられた。これはひとえに先のテーマ性の問題への過程となるものであり、又今後、この方向に進めてゆかねばならない。我々の仕事は孤立してなしえるものでない。芸術祭で我々の共通の意志を表示する事こそ必要なのである。両学部、各科交流を通しての知的接触の中に自己の脱皮がなされ、芸術大学の大学たる長所を発揮出来るのである。今年4月に始まった学園生活は、社会の中での自己的責任の目覚め、あの安保斗争に始まったといつても過言ではないだろう。不正への怒りと、自己解放への躊躇。私達は混沌を続けながらも前に進んだようだ。3ヶ月もの長い間、私達は学業よりも、これがこの時先行するものある事をはっきり知っていた。そして7月、校庭をおおう虚無と犠牲と不安の中に、一点の光となって定着するもの「不正への発言の姿勢」があった。これは芸術祭にいろいろな形で表われようとしている。テーマ性の問題を獲得する糸口となり、基盤となろうとしている。運営の面でまれにみる充実を見たのも、その中で得た横への連帯性と云つたものが支え、飛躍への一つの基盤となっている。二生年は修業旅行に出かけ、秋もまたもなく終る。この一年の成果を、自分等の姿を、じっくりとみつめたいと思う。

(岩崎駿介)

■音楽楽部 学友会

学友会には、音楽学部学生全員が属し、その代表たる学友会委員会は、各クラスから一名づつ選ばれた32人の委員により構成されています。さて我々、音楽学校の学生は、はたの見る様な、ロマンチックな、又、デカダンな存在ではないのです。事実我々は世に云う芸術家タイプ…………つまり19世紀的な古くさい衣は、ぬぎ捨てようとしているのです。現代に住む我々は、その生の皮膚を直接現実にさらさなければなりません。冷たい風を遮断する“宮廷の戸”も、“サロンの窓”も20世紀にはないのです。そして逆にこの事が我々を勇気づけ、その仕事をより完成されたものにするのです。たとえば、5月6日の安保問題の時もそうです。この問題に以前から関心を持っていた学生は、すぐさま立ちあがりました。そして学友会委員会も、この様な問題に対処するには、はなはだ不完全な組織であるにもかかわらず、アンケートをとったり抗議文を書いたりして、この問題を真剣に考えました。委員会で相互の意見の別れた事もあり、色々の学生の意見を聞いたあげくに、委員個人が混乱した事もあります。正直に云って、人より一步も二歩も遅れた歩調で歩いたのは事実です。しかし我々は、現実から逃げる事はしませんでした。

又、伊勢湾台風や、チリ津波の時も、わずかではあったにせよ、出来るだけの援助をさせていただきました。とに角、我々が一日24時の大部分を音楽の為に費いやしているのは事実だとしても、我々は一人の良い芸術家・（又は音楽学校の学生）であるよりも前に、一人の良い社会人でありたいと、常に心がけているのです。

さて今日は芸術祭。今年は音美両学部が真に一体となって、少しでも楽しい芸術祭になる様に努力したつもりです。どうぞ、奏楽堂で演奏される我々の日頃の勉強の成果に鋭い、しかし好意ある御批評をしてくださる様、お願いします。又それと同時に野外ステージでは、在校生とともに、充分楽しんでください、そしてこの複雑な現代社会の中で、より良い音楽文化を作るべく日々努力している我々、頭の中には西洋音楽の理論を、そして血の中には別の伝統の音楽を持った音楽学校学生の有りのままの姿を、少しでも理解していただければ幸いです。

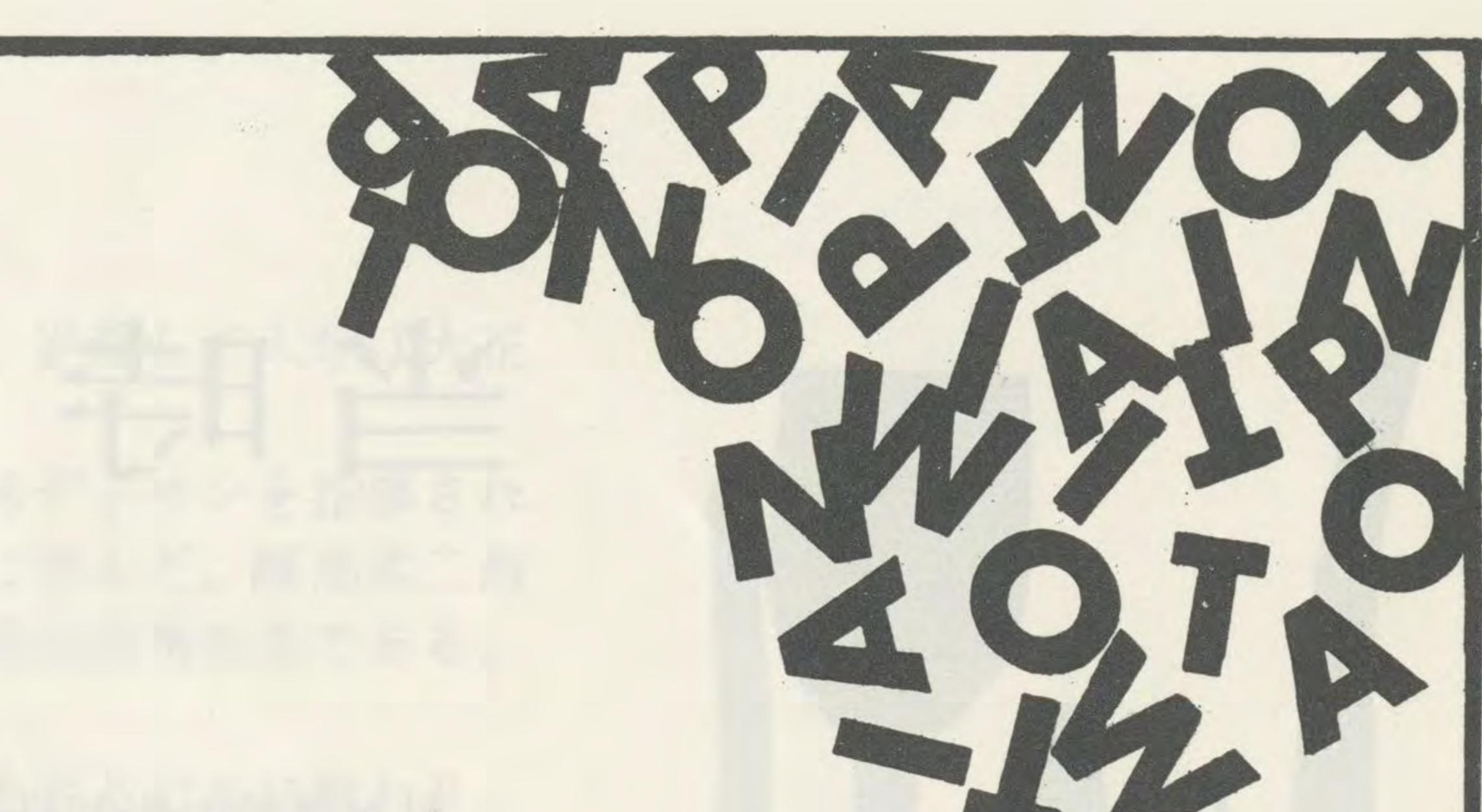
(藤原義久)



JORF

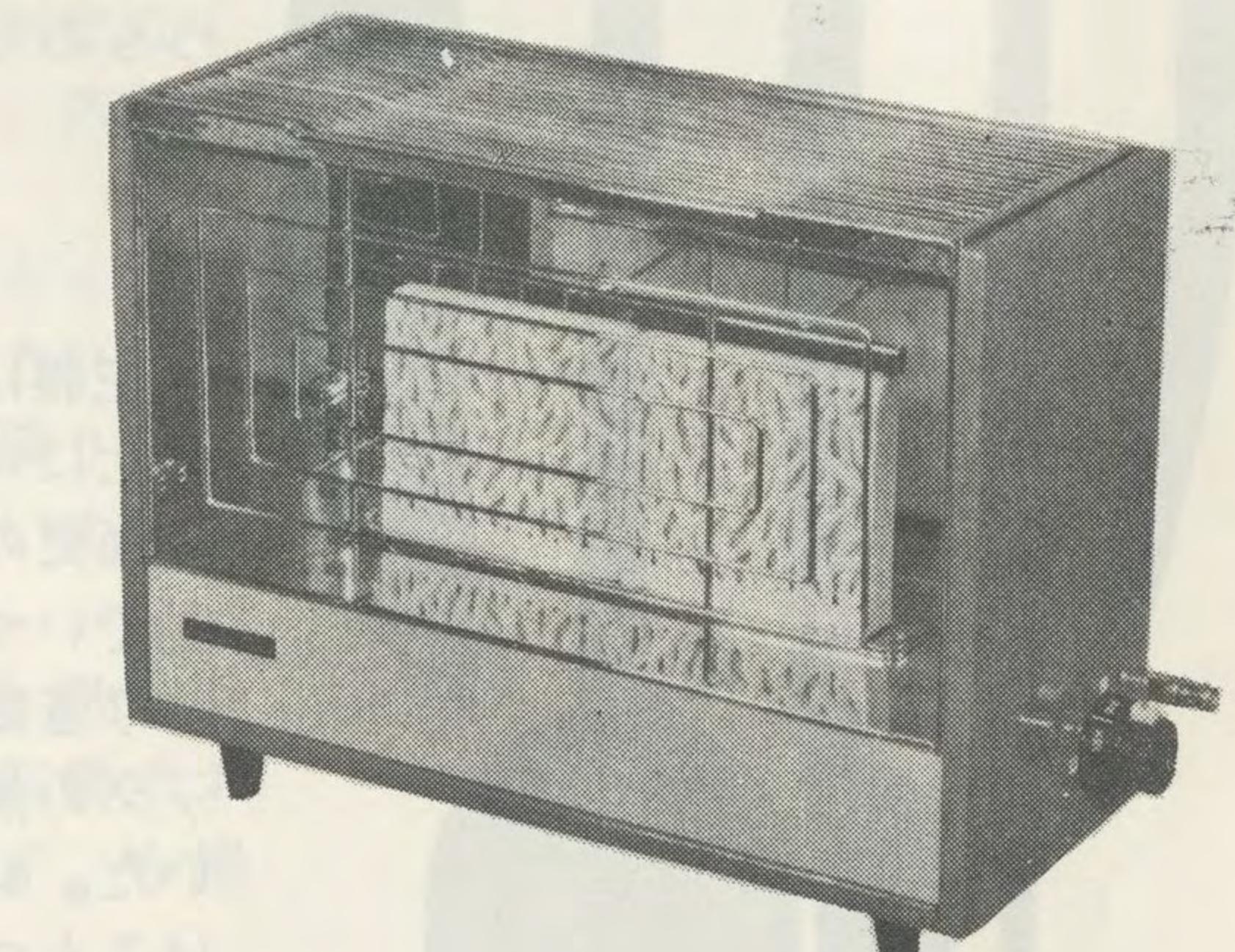
秋は 音楽を 楽しむ季節

1480kc. 音楽局 ラジオ関東



東和ピアノ商会

渋谷区上通1-4 (401) 1807 青山6丁目電停前



'61年型 ガスストーブ
★ 東京ガス

当時の学生気質



私が美校の彫刻科へ入学したのは明治38年で、卒業して研究科に三年いたので大正2年まで在学したわけで、其間の思い出を少し記しましょう。

私はこどもの時数年間、馬と生活を共にしたことがあって、馬体のすばらしい立体感に感動したことから、彫刻に志さし美校に入ったのであるが、入って見ると校長正木直彦という人は無類の俗物で、また彫刻科の先生が彫刻を知らないのにも驚いた。だから先生から教わるものは何もなく、自力で勉強するより外ないとはらをきめていた。教室にはモデルがあり、文庫には書物があり、勉強すればそれだけの収穫があった。博物館へもよく行った。陳列は割に豊富で思うまゝに勉強が出来た。今は有名な太秦広隆寺の弥勒像は歴史部のガランとしたところにあって誰も注目しなかった。それはすばらしいぞとたびたび行って見た。それから埴輪を見てまた驚いた。埴輪の彫刻性についてひとに話しても、誰も相手にしなかった。笑われるか氣ちがい扱いにされるかであった。かくの如くひたすら自分で勉強をつづけ在学8年を過したわけだが、其後西洋画科の長原孝太郎先生から「君は白井雨山先生のような人を先生にしたのは幸福だったよ。自分の思うまゝに勉強が出来たではないか。もっとえらい先生だったら、あたまをおさえられて手も出まい。」といわれた。皮肉な見方だが、そのようなところもあったかも知れない。

明治43年彫刻科卒 石井鶴三

主義は主潮を表現するにもその頃の学生は総て作品にほうりこんでいた。だまってポスターを描き、粘土にいそしみ、キャンバスとにらめっこをする。そこは音もない世界だった。日本画や漆芸に至っては尚更のこと。ところが私達の鍛金では静かな製作なんていうことはとんでもないことです。その反動でいつか美しい音に興味を持つようになり、5年間コーラスの世話役等をしてしまった。しかしながら音痴、学ぼうとしたのは楽譜の中のルールでした。その頃明日の芸術を語ることも正にカットバックの無声映画でした。学校は理窟ぬきの無言の御手本を提供し、学生は学生で無言の行をつづけていた。レジスタンスが無いかというと大いにあったらしい、それも亦無言のまゝ、一人一人の個性にとけこんで卒業製作の前提を作った。今考えてみると適当にデザインも実行していた。ところでデザインなんて言葉は全々耳にしたことなかった。近年の世の中は音のしないものまで音が出て来る。まことにそうぞうしい、黒いオルフェやガラスはぢやずるが近代のある一面をよく示している。更に変るであろう。慾を云えば当時科学的な基礎教育がほしかった。先生と学生の関係は最底であっても科学的な要素の一つである客観の世界を常に持っている筈で、このことはこれからも役に立つに違いない。音が出ていても結局は自由なパントマイム時代だった。

昭和9年鍛金科卒 佐藤潤四郎

美校のクラス会の名前が14年度会である。つまり大正14年卒業の集りである。逆算して入学は大正9年の春である。

1年生は長原孝太郎先生に石膏デッサンを習い。2年生は小林万吾先生に人体デッサンを指導された。3年になると油の教室にそれぞれ分散して、上手な上級生と混合した教室に学んだ。藤島武一教室。岡田三郎助教室。和田英作教室の三つである。そして、研究課の先生が黒田清輝先生である。私は岡田教室に入った。

これらの先生はすべて日本美術史を飾る第一級の画家である。この第一級の先生とじかに教わり、談笑出来たことが美校に入学した第一等の収穫である。

生徒は先生を模倣するものである。私は先生の絵の模倣ではなくて、コクラの制服を止めて、先生の如くにセビロを着用し、ステッキを突き、指に指環をはめて登校した。

入学した一学期の頃のことであった。長原孝太郎先生は私の石膏デッサンについて深刻なる批評をされた。しかられるのではなくて、逆に讃へて下さったのである。

「野間よ、一生この絵の気持を忘れるなよ。これが芸術である。このように描き進めるべきである。」以来私は好きなものを好きなように自由にかくことを教わった。

昭和16年油絵科卒 野間仁根

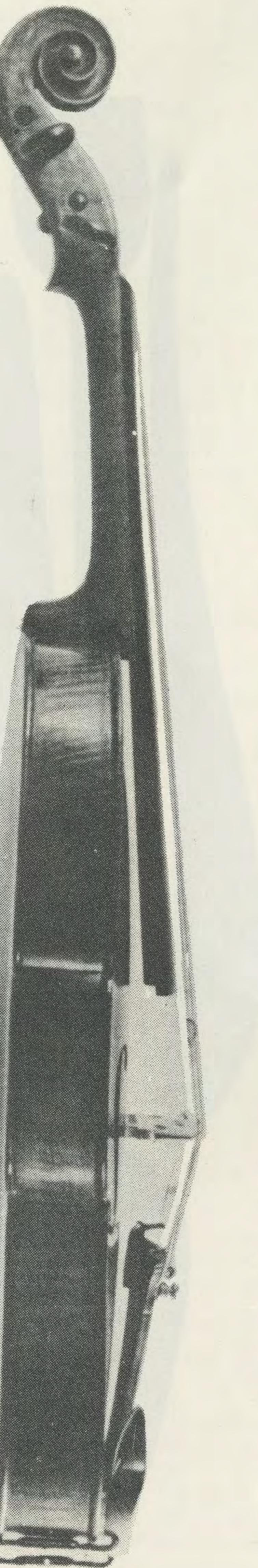
僕達の組は卒業が昭和16年3月ですから戦前派と称する恐らく最後の年代になります。従って軍事教練というものがあり毎年南軽井沢で突撃をやり、女生徒は長刀太をみっちりと仕込まれた様です。某教官（退役陸軍中佐）などは僕が或る日校門を出ると2、3米前を帰途につく所でした、何気なく見ると腰に軍刀をつけていないので、其の旨を近づいて聞くと「アッ学校に忘れて来ました、内諸にして置いて下さい。」といった、まだかなり暢気な時代です。

今のキャッスルがあって（此のオバサンの娘さんがまだ赤ん坊でオシメをしていた頃ですがオバサンの年の未だにその頃と同じ位若いのは七不思議の一つです）男、女生徒は丁度真中で区分されました。そのしきりがガラスの衝立で、生徒主事の先生が或る日やって来て、これではまだ隣りの女生徒の顔が見えるから少し脚を高くしなくてはいけないと、少し脚を高くされたのを覚えています。

それでは全校コーラスの時も各パート毎に衝立を立てたらなどと、冗談をいったものです。

校門を女生徒と一緒に入って来ると（腕などは勿論組まずに、一步位離れていてもですぞ）教務課に呼ばれ注意されました。式日には乗松校長が御真影の幕の紐を（御存知ですか天皇陛下の写真です）をいとも、神妙な顔でヘッピリ腰で静かに且つ厳肅に引張った光景も懐しい思い出です。今諸君が、女生徒と仲よく校庭を歩いているのを見ると羨しくもあり隔世の感を禁じ得ません。

昭和24年作曲科卒 渡辺高之助



「木内先生、今日昼休みに仙台演奏旅行について3年の荻野綾子さんと打合せをしていいでしょうか」

「君、打合せ以外の話は駄目だよ。上級生に対して笑ってはいけないぜ。場所は、生徒監室がいいだろう。」

零時25分、生徒監室の木内先生の横に荻野綾子（太田綾子）さん、それに向かいあって小出浩平が立っている。

「さあ、小出君用件を話せ」

「荻野さん、あす美術学校と庭球試合をしますから、応援したり御馳走したりしてくれと3年生がいっています。」

「おいおい小出君話がちがうじゃないか。仙台の話はどうなったんだ。上級の女の人に甘えちゃいかん」

「出たちゃん、いいわよ、窓のところへお菓子をおいてあげるから勝ってね。」

「荻野さん、小さい者を甘やかしちゃだめじゃないか、ここを何だと思っているのか」

翌日は日本晴れの秋日和、声楽の船橋先生、ピアノの高折先生、いま岡山大学にいる水野さんなど大奮斗したが美術学校の「月夜の晩に」の合唱に追いまくられて敗れ、残ったのは田中希代子さんのお父さんの田中英太郎さんと私の組一つとなった。

大塚先生を団長とする音楽学校応援のお蔭、美校の全選手をたおして、始めて美術学校に勝った。寄宿の窓からは、お菓子が降ってくるし、一杯顔がのぞいていて、何ともいわれない気持である。

あの頃は、女生徒と話をするにも先生立合の上である。まして自由に交際するなんてことは、考えることも許されなかった。が、しかし、あの頃の女生徒はオブレートに包んだ情熱があった。親切があった。

監視つきであったけれど、一寸話しただけでも、こくのあるいつまでも心の中に残るやさしさと礼儀とがあった。

私は、いまでもあんな交際もまたいいものだと、今の男女交際が露骨症をみて思うようになった。

大正10年甲種師範科卒 小出 浩平

僕が、上野へ入学したのは、1945年、即ち昭和20年で終戦の年です。旧制で、しかも戦争中の特例を利用したかや、オン年わずか17才でした。当時は日夜空襲で、授業など一向に始らず、8月に終戦を迎え、9月になってやっと入学式というわけ。ですから僕にとって、終戦のあの解放感と、上野入学の喜びは一緒だったのです。もう、軍事教練の教師にナグられる心配もいりませんし、勤労動員でモッコや、コヤシオケをカツグ必要もありません。そればかりではありません、ともすれば「男のくせに音楽など」という風に見られ、近所の目を意識しながらピアノをコッソリ鳴らしていたのですがそんな遠慮も今や一切無用。何の気がねもなく、音楽だけを一生懸命勉強出来る身になったという、あんなトテツもなくスケールの大きい嬉しさを味ったのは、アトにもサキにも、僕およびその同級生たちだけでしょう。これが、今でも僕の音楽に対する情熱のモトになっている様に思っています。

とはいものの、当時の社会状態は極端に悪く、食うものは何もなく（ああ、僕は想い出します。その頃、キャップスルで、タイマイ10円のパイという、霜どけの泥んこ道みたいなオゾマシキものがありました。何とそれが美味しく、しかも高貴なものに思えた事でしょう。——キャップスル当局よ、我

が忘恩を許し給え。）その上、日本音楽史上に永遠の一ページを飾った上野の学校騒動などもあり、特に1、2年の間は、レッスンもあまり無く、学課の授業などは、どれもこれも開店休講ばかりでしたが、これがかえって幸いして、誰も彼もが、たゞ好きな事、やりたい事だけをひたむきに学ぶ事が出来ました。あの頃の僕はもう、なんでもかんでも手あたり次第、メチャクチャに勉強したものでした。片時も五線紙や楽譜をはなさず、ベニヤ板を打ちつけた汽車の窓から吹きこむ寒風にふるえ乍らスコアを読んだり、停電の夜は、駅の待合室で対位法の難問を解いたり、放出品のコーヒーとココアをまぜた、いともイカガワシキ興奮剤をガブ飲みして睡魔とたたかいつながら「平均率」を暗譜したり、まあ、今から思うと、ずい分乱暴なことをしたものだとは思います。

現在の学生諸君、諸嬢には、当時の僕たちが、専門の勉強に使っただけの時間と労力をそれに捧げることが出来ないようですね。僕はこれを残念、かつ氣の毒だなど常々思うのですが――。

昭和24年作曲科卒 矢代秋雄

芸術祭運営委員会

プログラム編集委員会

編集責任者 及部克人

編集委員 / 上条喬久・熊谷絃子・川村康一

桜内邦子・古川隆久・高島和枝・林光輝

平川義浩・西巻良雄

デザイン（表紙・グラフ・案内図・Photo）

プログラム編集委員

編集後記

まだ皆が芸術祭の雰囲気が身につかぬうちに忙がしく動きまわり、これから芸術祭という時に仕事が終りホッとする。そんな役の係でした。広告の集まらぬ悲しさ、〆切に追われ充分なレイアウトが出来なかつたり後悔のしっぱなしでした。

(K記)



匂いよく純良！
資生堂后鹹
ホワイト

1個 30円



フレジャンコーナー誕生！

新鮮なお嬢さまのための新しいコーナー ハンドバッグ、スカーフ、アクセサリーなど、独特のムードをごらんいただきます

Frais Jeune Corner

そごう

電話 (231) 6711

明るく楽しい暮らしの泉

店内はエアクリーナーのきれいな空気

池袋 西武

大切なお金で上手なお買物

本店 東京都中央区日本橋室町
支店 銀座・新宿・池袋・丸ノ内
(東京)・大阪・京都・神戸
高松・松山・仙台・札幌

三越

377.9
G 7

京芸術和漢書
第ル、R、號★
圖書館之圖書冊ノ

枯葉のカーテンは秋の色
あなたのこころを包みます
リルリルリル口
小鳥の歌は秋の音
あなたのミミをくすぐります
リルリルリル口
そんな秋のムードがいっぱい
マツザカヤはどうぞ

上野 銀座
松坂屋



TOKYO UNIVERSITY OF ARTS / ART FAIR 1960 Nov. 3→6